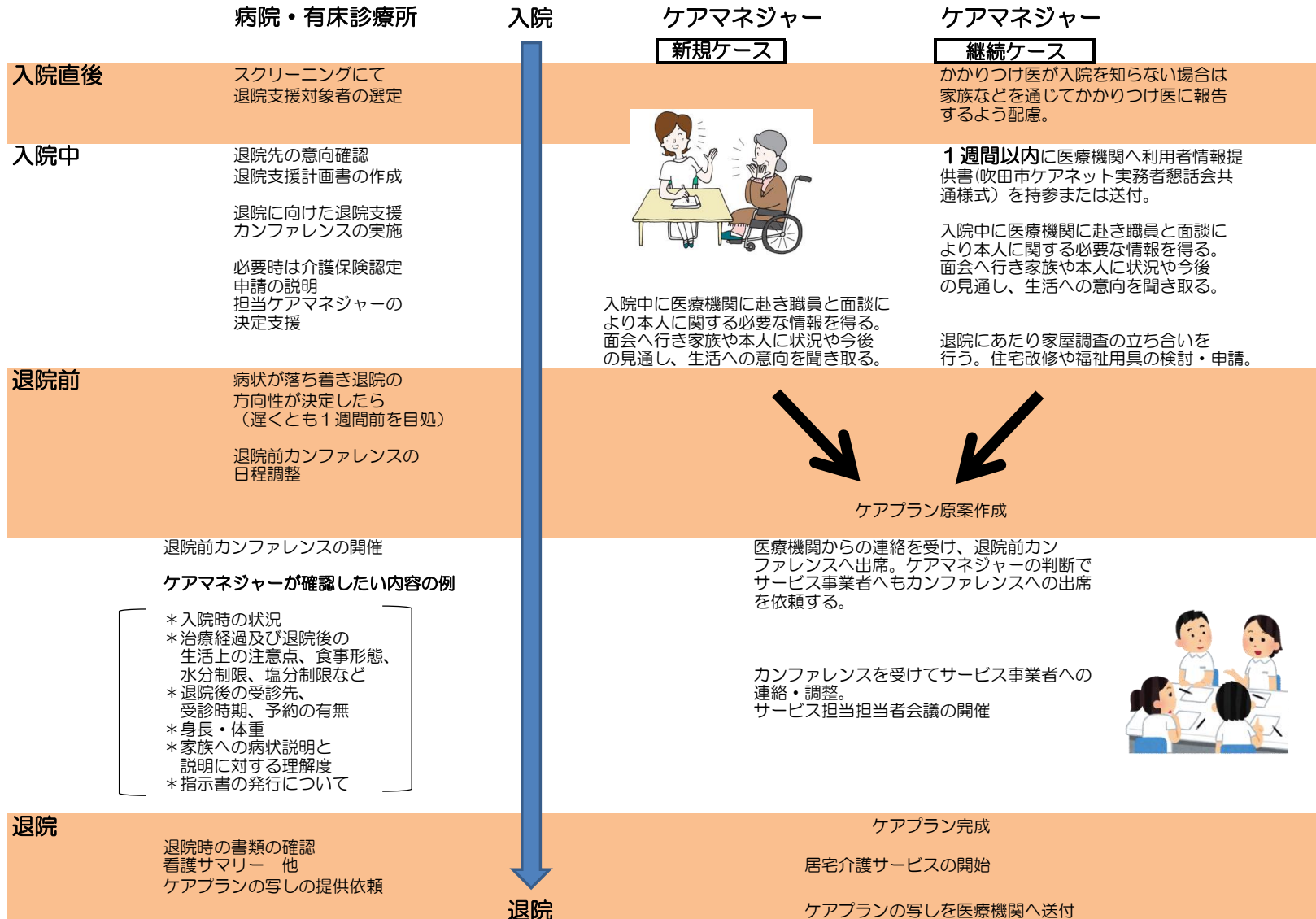


介護保険の居宅サービスを利用される方の入院から退院までの支援フロー

◎この流れは入院から在宅へ戻るまでの、医療機関及び居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）を中心とした関わり例を示したものです。

◎病院から地域へ、あるいは地域から病院へアプローチする時期や気を付けるべき点を参考にしましょう。



基本的な連携のマナー

- お互いの立場を理解し、丁寧な対応を心がけましょう。
- お互いの役割を理解した上で、協働していくことが患者に対するマナーにもつながります。退院支援担当者がついていない場合もあることを理解して連携を開始しましょう。
- お互いに、日頃から顔の見える関係づくりを心がけましょう。連絡時には相手の業務の体制を考慮しながら連絡しましょう。
- 所属、担当者名は正確に伝えましょう。情報提供を行うことや求める場合は、患者の同意を得ていることを申し添えましょう。
- 病院関係者にも話を聞く場合は事前にアポイントメントをとりましょう。

カンファレンスのマナー

- 退院前カンファレンスを効率的・効果的に行うために、事前準備をして臨みましょう。
- 多職種との連携では専門用語は使わず、分かりやすい言葉を使いましょう。
- 効率的に行うために時間配分に留意しましょう。
- 退院支援担当者とはケアマネジャーの間で、支援対象者の意向と家族の意向に相違がないかなどの確認をしておきましょう。